

## 令和6年度 第1回 タウンミーティング（概要）

○開催日時 令和6年10月16日(水)午後3時～4時10分

○開催会場 江南市防災センターセミナー室（北）

○開会あいさつ

皆さんこんにちは。江南市長の澤田和延です。

今日は1時間程度ということではありますが、気軽な気持ちでご参加いただければと思います。私の1期目からの公約で市民の皆さんとできるだけ対話をたくさん持っていこうということで、これまで地域の人であったり、小学生や中学生、高校生、大学生ともお話しをし、二十歳の集いの実行委員会の皆さんだったり、地区のさまざまな方ともタウンミーティングをやってきました。

今日は、環境フェスタが久しぶりに開催される中で、皆さんにお集りいただきましたので、環境をテーマにお聞きできたらと思っております。よろしくお願ひします。

○出席者と市長の意見交換

市長 まず、皆さんこれまでそれぞれの中で活動されてみえると思いますので、簡単に自己紹介をお願いします。

出席者 自然を豊かにしたいという気持ちでずっと頑張っていますが、なかなか思いどおりにはいかず、大変な思いをしております。こうやって環境フェスタができますので、これからも持続して頑張っていこうかなと思っています。

出席者 仲間たちと一緒に市民活動をしております。主に子どもたちに向けて、環境問題の状況をお伝えし、どうしようかと一緒に考える講座やイベントを中心に活動しています。

出席者 環境と福祉に関心を持って30年くらい活動をさせていただいております。今日は市長さんに今のエコチャレンジ推進協議会の現状をお知らせしながら、お力添えをいただきたいと思っております。

出席者 環境問題に興味があり、地区の役員も終わって、私の生涯テーマとして環境について皆さんのお役に立てることがあればと思い、活動しております。

出席者 私も今、退職してからも環境問題を続けてやっっていこうということで、環境学習アドバイザーに入って、それが発展した形でメンバーと一緒に活動させてもらっています。小学校あるいは保育園という小さいお子さんに環境について関心を持ってもらおうと、一番のきっかけになるような、そうしたものにしたいなということで続けております。

出席者 栄養指導業務を何十年もやってきて、食べ方によってこんなにも変わるのかと、今、子どもたちも高齢者の方も生活習慣病の問題とか認知の問題とか、色々と生活に関する病が心配だなと思っております。それを踏まえた健康の取り組みを市としてどうしていくのかを考えていただけたらと思います。

出席者 小、中、高と、地元密着で育ってきました。やっぱり地元が好きだなというのがありまして、地元を元気にして、地元が活気あるまちであればいい

いなという思いから、まちおこしのイベントをやったり、毎年の夏の暑さに危機感を持って、SDGs 江南EXPOをすいとびあ江南で開催したり、目の前にある問題をやれることから、小さなことから取り組んでいくことに意味があるんじゃないかと思って活動しています。

市長 ありがとうございます。皆さん、それぞれの分野でご活躍いただいております。今、「子どもたち」という言葉が出てきました。子どもたちから入っていくと、子どもたちが興味を持ってやったことは家庭の中でもご両親に話をしたりとか、非常にいいことかなと思います。これまでの活動の中で、そうした子どもたちとの関わりを通して、何か気付いたことがあれば発言をしていただきたいと思います。

出席者 昨年、区会議員としてごみ当番をやっていたときに、お母さんを手伝って子どもたちがごみを持ってくるんです。それで、いっぱい褒めてあげると、また来てくれるんです。子どもたちって本当にピュアで上手に褒めてあげたり、上手に叱ってあげれば必ず成長する。僕がこうして自然を守りたいということでやり出したときに、まず考えたのが、生き物たちを守りたいと思ったんだけど、実は違う。自然の場所を守るには、人づくりをしないとダメだと思った。子どもたちに芽を植え付けると、大人にも広がる。そういう広がり方をするなあと気付いて、ずっと人づくりをしたいと思ってやってきた。

もうちょっとだけ話をさせていただくと、人作りをしていく中で、例えば、学校教育において授業のカリキュラムがありますから、僕らがやっているような生き物関係はなかなか入りづらい。もちろんスポーツも大切だけど、できたらもうちょっと自然系のことを伝えられるように取り入れてもらえる嬉しいなあとずっと思ってる。ぜひまたそんな機会があったら、教育委員会の先生ともお話ししていただけるとありがたいと思います。

出席者 私も同感でして、私が最初にやったのが、通学路にごみがたくさん落ちていて、子どもたちにごみの中を歩かせるのはかわいそうだし、将来にとっても良くないだろうと思って、環境学習プログラムを作ったんです。道路に落ちているごみが海に行き、魚や動物を殺してしまい、最後は人間に返ってくるというプログラムを作ったんですけど、プログラムを作るまではいいんです。ところが、作ってもなかなかそれを活かせる場所がないというのが5年間活動してきて、本当にそれは強く思います。

市長 そうしたことを行政の方でしっかり聞いて、参考にできると良いと思います。

出席者 学校の子どもの話もあるんですけど、例えば、今、問題になっている地球の温暖化だとかプラスチックによる海洋汚染の問題は、江南市だけの問題ではないんですが、やっぱり大人に対しても啓発活動は必要だなと思います。

出席者 いろいろな環境の活動もさせていただいてますけど、学校によって取り組みの差が違う。やはり希望としてはどの学校でもやってほしいなという思いがあります。

出席者 ぜひこれからは学校内でも畑を耕さないといけない時代になるのでは

ないかと私も思ったりするんですけど、ただ作っておしまいではなくて、まず土作りから始める。何が違うのかと言ったら、土が元気であれば元気な野菜ができるということなんです。だからどんどんやっぱり江南市としては、これから食の話をどうしていくかということを実際に考えていただきたいなと思います。

出席者 学校によってずいぶん差があるという話だったんですけども、学年の先生の興味で変わってきてしまうというところがあって、国の方からもカリキュラムが来るかと思うんですけども、何かそこへ環境という分野で差し込んでいただける方法があったらなあと思っています。

出席者 イベントを続けていくということがすごく大切だと思っています。エコチャレンジ推進協議会は自主財源がなく、なかなか予算は付きづらいというふうに聞いておりますけれども、何とか予算を付けていただければより効果的な子どもたちに対するイベントも形を変えながら続けていきたいと思っています。エコチャレンジ推進協議会については、環境フェスタの時に模造紙1枚にまとめたものを掲示させていただきますので、ご覧いただければと思っています。

出席者 江南市は、SDG s 未来都市に採択されたということで、何かもっと具体的な何かをやらないといけないと思うんですけど、あまりそれが見えてこない。何かイベントをやる時とかでも課と課の情報が共有されていないと感じることがあります。

市長 これだけデジタルの時代ですので、パソコンとかスマホとかタブレットとかでPRしていくのはいいと思います。

出席者 環境審議会でもそうですけど、担当課が答えられる話とそうじゃない話が出てくることがあります。全部の課が来る必要はないですけど、関係している課が来ていただけるとありがたいと思います。

市長 今大事なことを言われたのは、例えば環境の話をしている中で、農政の話が出てきたときに関連はしているんだけど、やっぱり詳しくない部分は当然あるので、分からなかったら分からないで伝えると言うのはいいとしても、その答えをしっかりと持ってきて欲しいというのは中にはあると思いますので、そういった事は環境のことに限らず、いろんな会議の中でもやはり関連してくる事はあるので職員にも周知していきます。

SDG s の話が出てきました。2030年の目標、17のターゲットで、国連の総会で決議されてきたことで、2030年を目標にやっぺいこうというように、意識としては上がってきているんですけども、まだ分からないという方々も多い。例えば貧困の問題にしてもそうですけど、なかなか目標を掴みづらい。何年までに貧困率を低くしようとかの方が具体的なものになるのかもしれない。こうしたターゲットというものについて、お考えがもしあるならば発言していただきたいなと思います。最新ではSDG s 未来都市ということで江南市が認定を受けましたので、その中で予算をいただきながら、どういう形でやっぺいこうかということ、3年かけてやっぺいいくわけでありまして、1つは行政だけでやり切れないところがあるので、民間の人たちと一緒に、同じステージに立って目標掲げて行こうというのが、1つの大きな目標として掲げて

おります。行政は行政の力、そして民間、NPO、個人、それぞれの強みを活かしながら、ターゲットをしっかりと目標に上げて、克服して目標達成していこうっていった考え方ですけど、皆さんの活動の範囲の中でお気づきの点がありましたらお願いします。

出席者 先日、環境のイベントをやったときにアンケートを取った中で、江南市は令和6年度にSDGs未来都市、自治体SDGsモデル事業に選定されたことを知っていましたかと質問をしてみたんですね。そうしますと環境のイベントなので、興味がある人たちが来てるんだと思うんですが、実は知らないという意見の方が多かったです。私たち実はこの3年本当にSDGsを下から、子どもたちや市民の方に向けて啓発活動をずっとしてきているんですけども、なかなか手応えまではいかず、そもそも市民がSDGsについて知らないというのは感じております。ある企業の社長さんが、商品を作る際に消費者が安いものを求めて買うのであれば、安いものを作るし、環境に配慮したものが売れるならそうしたものを作る準備がありますということだったので、消費者に向けての啓発活動というのもすごく大事になってくるんじゃないかなと感じております。

市長 啓発活動っていうのは、まさにそうですね。SDGs未来都市に選ばれたことをなかなか伝えきれていないというのは、行政の責任でありますので、どんどん訴えていかなければいけないなと思います。

出席者 環境フェスタの実行委員をさせていただいて、ベースからきちんと江南市としての取り組みはこういうことをやっているんです、だからSDGsも頑張りましょうみたいなコンセプトを江南市としてしっかりしてほしいと思います。

市長 江南市はゼロカーボンシティの宣言を、令和5年2月にしたんですけども、言おうとしているのは非常に難しいことでも何でもなくて、クールチョイスを実践しましょうとか、資源回収に取り組みましょうとか、再生可能エネルギーの製品を使いましょうとか、環境イベントに参加しましょうとか、そんなような目標にしてるんだけど、細かく言えば、2050年にプラスマイナスで二酸化炭素の排出をゼロにしましょうという目的で、じゃあどうするのというのは非常に難しい。けれども、LED化についても蛍光灯が作られなくなってきましたし、公用車も電気自動車に変えていったりとか、電気自動車も充電スタンドがないんで、何とか国の補助をいただきながら、KTXアリーナのところに作ろうとしてるんですけども、頑張らなきゃいけないと思っています。口に出してPRしていく以外ないんで、聞かれたら皆さんそれぞれの立場で親切に説明してあげていただきたい。多分野にわたってくるものですから難しいこともあるんですけど、やれることからやればいい。ひょっとしたら子どもたちの方がよく知ってるのかもしれないですね。

出席者 SDGsやゼロカーボンに繋がるような話で、今、学校給食センターがすいとびあ江南の横で建てられている。その時に木が切られてしまって広い土地になっています。その失った緑をどこかで取り戻すことがゼロカーボンの将来に繋がるのかなと思います。ぜひみんなで考えていけるような植林や植栽をして、SDGsにつながるような取り組みで、緑を少

し植えるといいなあと思っております。

出席者 緑化は、温暖化対策としては効果的な取り組みだと思います。ただ、木を植えましょうとか、草地を増やしましょうって言ったら、草地だったら苦情が出たりとか、木だって街路樹を植えていけば剪定もしなきゃいけないし、枯れ葉も出るとなかなか難しい。ただ今、環境学習会で江南団地のURさんと一緒に取り組んでいるのが、どんぐりを植えて、小さな木ができて、剪定してそれを大きく育てるという活動をしてるんだけど、それはなぜできたかという、江南団地の木が大きくなりすぎて、大きな台風が来たら倒れるんじゃないかと言われていた木を更新するためにやってくる。そういうのが大好きで、自分が何かをやって1つの効果になるのは嫌で、いろんな人を巻き込んでやるといろんな効果が出る。

市長 企業訪問をさせていただくときに何か要望はありますかと言うと、緑地面積を減らしてほしいというような意見がある。高木ではなくて、低木、さらに芝生とか強い草にしたりと。

出席者 なかなか家庭で1本ずつ木を植えましょうと言っても難しい。そこも含めてどう考えていくかなんだけど、公園に隣接して作るとか、何かそういう考え方をちょっと変えていかないと緑化に関してはなかなか難しいんじゃないかなと思います。SDGsっていうけども結局、選挙になると経済の話しかしない。本当に地球温暖化は待ったなしで、経済ももちろん大切なんだけど、並行して、温暖化対策ももっと強く打ち出さない。

市長 緑化事業では江南市もシンボルツリー事業ということでやっています。一方で、街路樹を切ってくれとか、密すぎるくらいに木が生えていて、それが急に太くなったから見通しが悪くなるからとか、草林になって見通しが悪いからといったような要望があったりします。江南市の公園でも、管理がしやすいように低木にしようかと、なかなか二酸化炭素の縮減というものには繋がってこないかもしれないけれども、おっしゃる通りそうした気持ちを持って取り組んでいかなければならないかなと思います。

出席者 木もいいんですけど、草のいっぱい生えた畑や田んぼが気になっていきます。草刈りをして、家畜の餌として、他県に売るとかできないのでしょうか。

市長 先ほど出た学校給食センターも新しいごみ焼却場のところも木を刈ってしまいました。もともとは何も生えていない畑だったんです。そこに鳥が運んできたものがあれだけ大きくなって森を作ったので、元に戻ったと言えばそうなのかもしれないけれども、その分だけ二酸化炭素を吸収するような政策をしていかなければいけないのかなと思っています。今言われた草を刈って売ることができないかについては、輸送費も考えると、なかなかプラスにはなっていないかもしれませんが、提案として受け止めてさせていただきます。

せっかくの時間も過ぎてきましたので、何か提案するようなことがあればお聞きをして、予算がかかるようなことは難しい面があるかもしれませんが、こういったことをやりたいなっていうことがありましたらお願いいたします。

出席者 ゼロカーボンの話で江南市はこういうことをやっておりますというこ

とを知らせていこうと思いますと、市内一斉に30分でもいいから消灯しましょうとか、そういった盛り上がるような企画をできるといいなと思います。

出席者 具体的なものは何もないですけど、ごみの焼却場がせっかく新しくなるんだから、そこで何かゼロカーボンにつながるものをしていただきたい。

市長 もちろんそういうスペースは作らなきゃいけないっていうのは今も出ています。学校給食センターについては、見学路を作って、見てもらうということが大事ですし、太陽光パネルも並べます。ごみ処理場のほうについては屋上に太陽光パネルを設置していきます。

出席者 今年度は市制70周年ということで、こうなん環境フェスタが行われますけども、ぜひ来年も再来年も規模は多少変わってもいいので続けていただきたい。

市長 環境フェスタも前は毎年やっていたと思いますけども、合同で開催したりという方法もあります。昔でいう市民まつり、商工まつり、農業まつりといったものが今1つになって産業フェスタという名前です。11月にありますので、そういったところで場所の問題もあるかもしれませんが、PRできるブースを作りたいなと思っています。

出席者 SDGs 未来都市に期待しています。

市長 先ほども言いましたように行政と一緒に協力をできるもの協力しながら、それぞれの持ち味を生かしてやっていくということが非常に大事なことだと思っています。

いろいろなアイデアや積極的な意見の中でお話がありました。今日はこうしたタウンミーティングということで、やらせていただきましたけども、常日頃から市長への手紙だとか、自由にできるだけ皆さんからの様々な委員会での発言もあつたりしますし、今回の環境フェスタでもありますし、さまざま感ずるところがあるかと思っていますので、どんどん鈍感な行政を動かすようにこれからもお力添えをお願いいたします。ありがとうございました。